

わらしべ会障害者柔道のあゆみ

1) わらしべ会障害者柔道の歩み

わらしべ会の柔道療育は、1970年代に法人の開設者であり医師の村井正直（1926～2010）が就学前の脳性まひ児を自身の運営する地域の柔道教室に参加させ、障害児、健常児の隔てなく統合した形で練習を始めたのがその始まりです。

そこで村井は、医療的なりハビリテーションでは得られない脳性まひ児の意欲的な運動に着目しました。柔道を通じて、その子らが体力面、健康面、身体能力面の向上を獲得していく様子を目の当たりにし、柔道が身体障害のある子どもらにとって有効なものであることを確信しました。



↑村井正直



1981年に成人の身体障害者施設「わらしべ園」（大阪府枚方市）を開設してからは、脳性まひ者だけでなく、脳血管障害による片まひ、高次脳機能障害者など、対象の障害を限定せず施設を利用するさまざまな障害の人との柔道を実践し、身体感覚の回復と身体機能の向上に活用しました。



2010年からは就労支援事業に通う軽度の知的障害者、発達障害者を対象に柔道教室を開始し、体力向上と余暇時間の活用、礼儀の学習に役立てています。



2) 海外遠征

これまでイタリア、ドイツの障害者柔道の団体から招待を受け、現地の大会に参加する機会もありました。

イタリア



ドイツ



3) 現在の活動

① わらしべ園の利用者（身体障害者）

- ・週2回（月曜日と金曜日、14：00～15：00）施設の午後のプログラムとして実施
- ・利用者 5～7名参加。主に寝技、補強運動を中心に稽古している。

② 軽度知的障害者のクラス

- ・週1回（毎週土曜日、14：00～15：00）
- ・地域に住んでいる軽度の知的障害者対象。
- ・立ち技を中心に稽古しているが、主な目的は運動不足解消と余暇の活動および礼節の学習。

- その他、スウェーデン障害者柔道、2015 スペシャルオリンピックス世界大会（ロサンゼルス）の視察等を通じ日本のみならず、世界の障害者柔道との交流を進めている。



【連絡先】

障害者支援施設 わらしべ園 柔道担当（辻、近藤）
〒573-0103
大阪府枚方市長尾荒阪2-3545
TEL 072-85-5507
メールアドレス info.wara.12@sb3.so-net.ne.jp